

資格名	付与機関	資格概要	取得方法	試験概要			目指せる職業
				受験資格	試験日	合格率	
1 <b>一、二級建築士</b>	国	ごく小規模なものを除き、建物の設計を行なうには、建築士の資格を持つことが必要。建物の規模により建築士資格の裁量に違いがある。建築関連の仕事をする上で必要となる代表的資格。	住居学専攻を卒業すると受験資格が得られる。3年後期の建築専門演習Ⅰ、4年前期の建築専門演習Ⅱ、4年後期の一級建築専門演習を受講し、一、二級建築士学科試験に必要な知識を身に付けた上で受験できる。卒業前の2月には設計製図試験対策も実施。	二級：住居学専攻卒業後※1 一級：住居学専攻卒業後 (一級建築士登録には実務経験2年要)	2級：学科-7月上旬、設計製図-9月中旬 1級：学科-7月下旬、設計製図-10月中旬	二級：22.3% 一級：9.9% (2023年度)	ゼネコン、建設会社、ハウスメーカー等における建築設計及び工事監理 建築設計事務所 公務員（建築主事等）
2 <b>インテリアコーディネーター</b>	公益社団法人 インテリア産業協会	住空間のトータルコーディネート能力を認定する資格。インテリア業界で活躍するのに必要な資格。	1年後期のインテリアコーディネーター専門演習Ⅰ、2年前期のインテリアコーディネーター専門演習Ⅱ、インテリアコーディネーター専門演習Ⅲを受講して、学科試験に必要な知識を身に付けて2年生から受験できる。 1次試験合格者には2次試験対策も個別に行う。	1次試験：制限なし 2次試験：1次合格者	10月上旬	24.9% (2023年度)	ハウスメーカー、住宅設備会社、インテリア販売会社、リフォーム・リノベーション会社等のインテリアコーディネーター職
3 <b>宅地建物取引士</b>	国	不動産取引に必須の資格。不動産業界から一般企業まで汎用性の高い資格。	1年前期の自己創造Ⅱにおいて宅建士試験で重要な民法関連について学び、各自試験対策を行って受験する。希望者には模擬試験を実施している。	制限なし	10月中旬	17.2% (2023年度)	不動産会社、建設会社、ハウスメーカー等
4 <b>福祉住環境コーディネーター (1級、2級、3級)</b>	東京商工会議所	高齢者・障害者が安心して生活できるバリアフリー住宅環境を提案する能力を認定する資格。	1年後期の福祉住環境専門演習を受講し、各自試験対策を行って受験する。	2級、3級：制限なし 1級：2級の合格者	7月中旬：2級、3級 11月中旬：1級、2級、3級	3級：40.9% 2級：38.1% 1級：14.5% (2023年度)	リフォーム会社、建築設計事務所等
5 <b>カラーコーディネーター (アドバンスクラス、スタンダードクラス)</b>	東京商工会議所	色彩のもつ特性を上手に活かして、それぞれのニーズにあったイメージをコーディネートする能力を認定する資格。インテリア関連の仕事をする場合持っていると有利。	1年前期の色彩計画学を受講し、1年生全員がスタンダードクラスを受験し、希望者はアドバンスクラスも受験する。	制限なし	7月上旬 10月下旬	スタンダード：75.0% アドバンス：47.5% (2024年度)	インテリア販売会社等
6 <b>商業施設士</b>	公益社団法人 商業施設技術団体連合会	商業施設の企画・設計・デザイン監理等に関する知識を有していることを証した資格制度。	認定校になっているため、住居学専攻の3年次までの必修の授業科目の単位を修得した後に、学外で行われる商業施設士補資格講習会を受講し取得できる。		認定資格講習会は9月、2月に開催		店舗デザイン会社、建築設計事務所等
7 <b>高等学校教諭一種免許(家庭科)</b>	教育委員会	高等学校家庭科教員として家庭実習の教材を教えるために必要な資格。	本学の他学部、他学科で開講される科目も含めて、教育の基礎的理解に関する科目等25単位（教育実習を含む）、教科及び教科の指導法に関する科目24単位、大学が独自に設定する科目12単位、計61単位等を取得することで取得することができる。	大学で履修終了者を認定	認定 卒業認定時		高等学校の家庭科教員
8 <b>学芸員</b>	大学	博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他、これに関連する事業を行なう「博物館法」に定められた博物館におかれる専門能力を有する専門員。	本学の他学部、他学科で開講される科目を含めて計27単位（博物館実習を含む）を取得することで取得できる。	大学で履修終了者を認定	認定 卒業認定時		博物館、美術館の学芸員

※1 工業高校において、指定科目の単位取得をした者は在学中に受験可

資格名	1年次		2年次		3年次		4年次		備考	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期		
宅地建物取引士	自己創造Ⅱ	試験							自己創造Ⅱ（前期） 模擬テスト 2回（希望者）	
カラーコーディネーター （プロボンス・スタジオクラス）	色彩計画学	試験 10月下	試験 7月中							
福祉住環境コーディネーター （1・2・3級）	福祉住環境 専門演習		2・3級試験 7月上	1・2・3級 試験 11月中						
インテリアコーディネーター	インテリア コーディネーター 専門演習Ⅰ		インテリア コーディネーター 専門演習Ⅱ インテリア コーディネーター 専門演習Ⅲ	1次:10月上 2次:12月上	インテリア コーディネーター 専門演習Ⅲ		インテリア コーディネーター 専門演習Ⅲ		インテリアコーディネーター専門演習Ⅲは、学科試験合格を目指した徹底的な問題演習を行うもので、2年生～4年生までが受講できるようカリキュラム編成されている。	
一、二級建築士						建築専門演習Ⅰ	建築専門演習Ⅱ	一級建築専門演習	二級建築士試験は卒業年で受験可能。※1 一級建築士試験も卒業年で受験は可能であるが、登録には2年の実務経験が必要となる。	
商業施設士（補）	1年から3年次までにおける必須科目授業を履修						商業施設士補講習会 10月	商業施設士補 3年次に認定	商業施設士試験 7月下	商業施設士補は、認定校となっているため、所定の単位を修得し、3年次の講習会の受講で取得できる。商業施設士は、商業施設士補を取得すると受験できる。



白丸は試験時期を表す